地域予算制度の概要

令和２年度先行実施 ＝ ２地域（旧実穀小学校区・旧吉原小学校区）
令和３年度 ＝ 全8地域（旧小学校区）
令和４年度 ＝ 全９地域（本郷・あさひ地区を分離）
令和５年度以降 ＝ 全11地域（阿見地区と阿見第一地区が2地区ずつ分離）

１.地域予算制度の目的

小さな声も聞き、町民自ら自分たちの地域のことを考える自治意識が根付いている状態を目指します。

町民 誰かが何とかしてくれないかなぁ？ ➡ 地域のことは自分たちで良くしていこう！

町 地域では何を求めているんだろう？ ➡ 地域の声を予算に反映させよう！

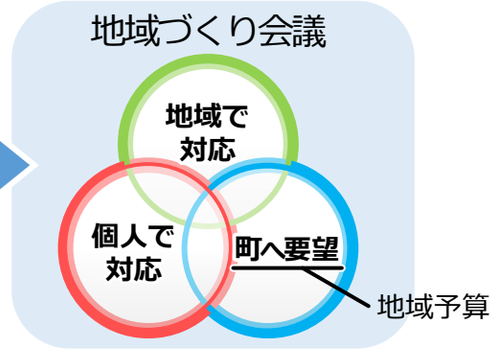
２.「地域づくり会議」の設置

小学校区を基本に「地域づくり会議」を設置し、

① 地域を良くするための話し合いを行い、対応策を検討します。

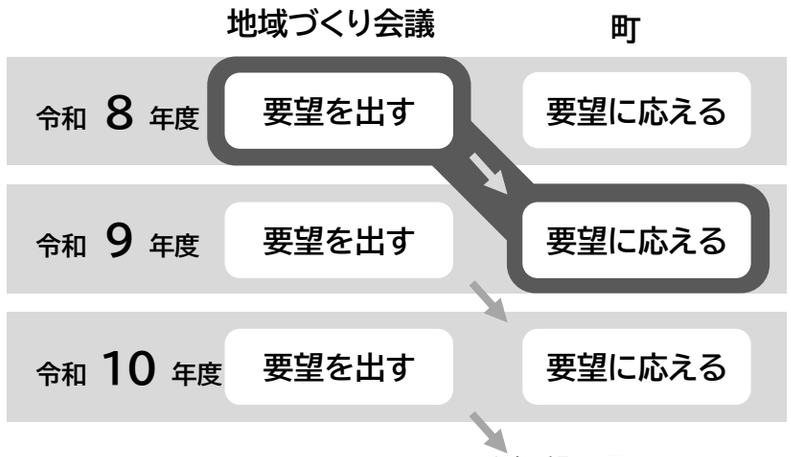
② 地域でできないことは町の翌年度の予算に要望します。

地域の要望 ➡



３．運営スケジュール

地域づくり会議では町への要望を話し合い、
町は翌年度の予算に要望を反映させるよう努めます。



要望を町が実施するのは翌年度

４.予算要望の流れ（年間スケジュール）

(1) 行政区ごとに 要望を募集

区民

地区委員※

※各行政区２名の代表者
（＝地域づくり会議の委員）

(2) 「地域づくり会議」（旧小学校区）で 要望を絞り込み

地域の要望

※進行は地域担当職員が支援します

自分たちで解決できそう ➡

自分たちでは難しい ➡

(3) 町へ要望書を提出！

1 地域・個人で解決する

・行政区の活動や地域で対応（地区の部会、消防団、育成会など）

・個人で対応

2 地域予算

町へ要望書を提出

「地域予算要望書手交式」の実施

⇒ 町は要望を予算に反映させるよう努める

要望書

令和8年12月○日

阿見町長 殿

○○地域づくり会議
会長 ○○ ○○

地域予算要望書

初冬の候 貴職に
は、・・・
ます。

要望は翌年度の予算に要求！

記

事業名	概算費用
○○教室の開催	200,000円
○○の整備	600,000円
合　計	800,000円

※要望額は上限があります

(1) **5月**
第1回地域づくり会議
→ 顔合わせ、流れの確認

6～7月
回覧や世帯配付、区内での会議により区民から要望を募集

➡

(2) **8~9月**
第２回地域づくり会議
→ 要望の絞り込み

10月
第３回地域づくり会議
→ 要望書の作成！

➡

(3) **12月**
要望書の提出

概算費用や対応可能な要望かどうか、役場内でもあらかじめ確認します。